



1年生、4年生の交通安全教室を実施しました

5月1日（水）に2校時に1年生、3・4校時に4年生の交通安全教室が行われました。交通安全教室では、伊勢崎警察署の方をはじめ、交通指導員さん、保護者ボランティアの方々にもご協力いただきながら進められました。

1年生は、まず、伊勢崎警察署の小川さんが子供たちに分かりやすく道路での歩き方について話をしてくれました。特に、横断歩道を渡るために、

- ① 横断歩道手前で止まる。 ② 手を挙げる。 ③ 右、左、右を見て確認する。

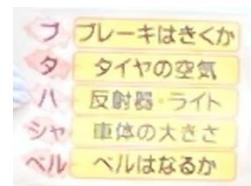
を必ず行うことを子供たちにわかりやすく説明してくれました。



次に、学校周辺の歩道を4人1組で歩き、実際に横断歩道を①から③のとおり実践しました。信号機のある交差点でも交通指導員さんの指導のもと、しっかり止まり大きく手を挙げ、右左右を確認してから歩道を渡ることができました。伊勢崎署の小川さんからは、交差点だけでなく、スーパーマーケットの駐車場出入口でも、①から③をしっかり行い、安全に歩けるように、子供たちに指導をしてくださいました。

4年生では、校庭で自転車の乗り方について、実際に自転車に乗りながら学習しました。

まず、伊勢崎署の小川さんから次のようなクイズが出されました。「自転車は、車と同じだと思いますか。それとも、歩行者と同じだと思いますか。」正解は両方です。自転車に乗って走っているときは、車と同じで、自転車を押して歩いているときは、歩行者と同じというのです。また、自転車は車と同じなので、自転車に乗る前は、必ず点検をします。「豚はしゃべる」が合い言葉です。右の図を参考にしてください。次に、実際に自転車に乗って、信号機のある交差点や止



まれの標識がある交差点での乗り方講習を行いました。左右だけでなく、後ろも確認することの大切さ、信号機のある交差点では、自転車を降り、自転車を押して横断歩道を渡ることなどを体験しました。自分の命を守るために、とても大切な授業だったと思います。

交通安全教室の実施に当たり、12名の保護者の方がボランティアとして支援していただきました。たいへんありがとうございました。

